

公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

2026 年度 総会・連携会議 議事録

日時：2026 年 9 月 4 日（金）13:40～15:20

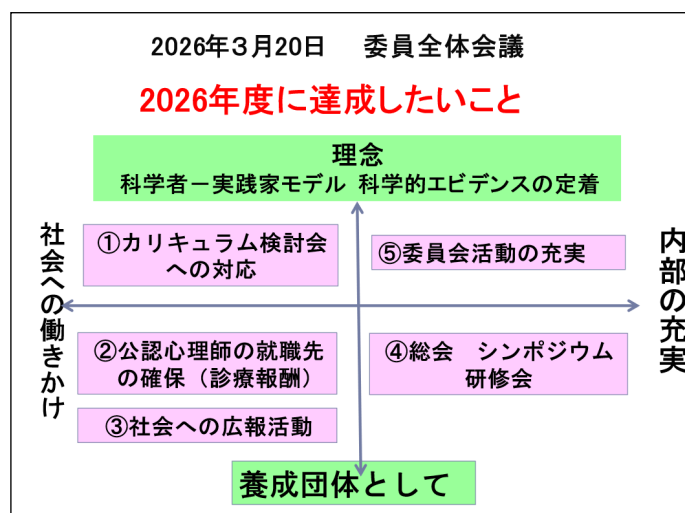
場所：日本心理学会第 90 回大会 東洋大学白山キャンパス

参加者 公大協運営会議メンバー 個人会員 組織会員 加盟団体



1. 公大協の組織 2026 年度に達成したいこと

2026 年 3 月 20 日に委員全体会議を開催し、2026 年度に達成したいことを下図のようにまとめた。



①カリキュラム検討会への対応としては、2026 年度に実行される厚生労働省令和 8 年度障害者総合福祉推進事業（浜銀総合研究所）に積極的に協力する。

②公認心理師の就職先の確保については、診療報酬の拡大に努めてきた。2026 年 6 月から公認心理師の診療報酬拡大が実現した。これに関して、公大協としての意義を公表した。

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/07/20260713-1.pdf>

また、下記シンポジウムを開催した。

日本心理学会第 90 回大会 大会企画シンポジウム 2026 年 9 月 6 日

「2026 年診療報酬改定で公認心理師はどう変わるか：エビデンスの力」

企画 一般社団法人公認心理師の会 公認心理師養成大学教員連絡協議会（公大協）

丹野 義彦

唐沢 かおり（日本心理学会理事長、日本心理諸学会連合理事長）

阿部 恒之（日本心理学会常務理事、日本心理諸学会連合前理事長）

北村 英哉（日本心理学会常務理事、公大協副会長）

嶋田 洋徳（日本学術会議会員、日本心理学会理事、日本心理諸学会連合監事）

話題提供

鈴木 伸一（早稲田大学）・丹野義彦

「公認心理師が行う認知行動療法的アプローチに基づく心理支援の診療報酬化」

丹野 義彦

「公認心理師と診療報酬：草の根エビデンスの力で山が動いた」

古村 健（名古屋市立大学）

「公認心理師からみた診療報酬改定」

指定討論

清水 栄司（千葉大学） 医師の立場から

嶋田 洋徳（早稲田大学） 学術会議の立場から

*シンポジウムの動画は下記の YouTube でご覧いただけます。

<https://youtu.be/6-wCR3F8ugQ>



③社会への広報活動としては、公大協と公認心理師の会合同で編集した『公認心理師になる』が刊行され、その広報に努める。2026年5月31日に日本心理学会・認定心理士の会の新刊連動講座で本書の解説をおこなった。

④総会・シンポジウム・研修会を活発化させる。2026年9月の日本心理学会大会では、シンポジウム2本とワークショップを開催した。

⑤委員会活動を活発化させる。委員全体会議では、全委員会へのお願いとして、カリキュラム検討会で主張すべきことをまとめること、コアカリキュラム・標準シラバス・マニュアルなどの各文書を見直し改訂すること、委員会の会議を開き議論すること、次期への継続性（引継ぎ）を考えることなどをあげた。

2. 活動報告

昨年度の総会（2025年9月）から2026年9月までの公大協の活動を報告した。

2025年

10月21日～31日「ランチ交流会－公認心理師養成の課題と工夫を考えるつどい－」を4回に渡って開催しました。開催に当たっては一般社団法人公認心理師の会の後援を受けました。

10月公大協の標準シラバスやコアカリキュラムの改訂についてのアンケート調査を実施しました。

11月4日～12月10日 厚生労働省 令和7年度障害者総合福祉推進事業「公認心理師の役割と養成の在り方等に関する調査研究」（実施主体は浜銀総合研究所）に、公大協から検討委員とワーキンググループを推薦し、会員への調査協力をお願いしました。調査の結果は、浜銀総合研究所から公開されています。 https://www.yokohama-ri.co.jp/shogai_bunya2025/pdf/hokoku.pdf

2026年

1～2月 一般社団法人公認心理師の会 2024年度被害者支援研修会を後援しました。

1～2月 各委員長と会長との個別打ち合わせを実施しました。

1月20日 公大協メールマガジン第7巻1号を配信しました（会員限定）。

3月4日 運営会議を開催しました。

3月20日 公大協の「委員全体会議」を初めて開催しました。

3月 公認心理師教育コアカリキュラム案を簡略化した「科目表」を作成しました。養成校のみなさまに年報とともに郵送しました。

https://psych.or.jp/qualification/shinrishi_info/core_curriculum202203

3月31日 2025年度公大協年報を発行しました。養成校のみなさまに郵送しました。

https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/03/AnnualReport_2025.pdf

巻頭言は山下貴史衆議院議員（公認心理師議員連盟事務局長）に執筆いただきました。年報で「区分A修了者評価調査」の結果を公表しました。

4月 令和8年度公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会に公大協として協力しました（企画委員会および講習会講師として参加）。

5月16日 一般社団法人 公認心理師の会 年次総会（東京大学駒場キャンパス）で教育講演「診療報酬の拡大を公認心理師の現場にどう活かすかーエビデンスの時代の公認心理師ー」を後援しました。

講師は、厚生労働省公認心理師制推進室 内田舞先生と、鈴木伸一副会長です。

一般社団法人公認心理師の会 学術雑誌 科学者・実践家モデル第6巻に収録されました。

5月17日 一般社団法人 公認心理師の会 研修会（東京大学駒場キャンパス）で公大協共催シンポジウム「公認心理師の実習・演習で学生の主体性を育てるにはどうするか：体験学習サイクルによる指導方法」を開催しました（講師は古川洋和公大協事務局長）。

5月31日 日本心理学会・認定心理士の会 新刊連動講座『公認心理師になる』を開催しました。

6月1日 診療報酬が改訂され、公認心理師の活動の診療報酬が大きく拡大しました。これに関して、公大協としての意義を公表しました。

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/07/20260713-1.pdf>

6月1日 公認心理師の議員連盟の総会が開催され、公大協からの参加が求められました。公大協からは嶋田洋徳役員が参加しました。

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2026/07/20260713-2.pdf>

6月18日 厚生労働省 令和8年度障害者総合福祉推進事業「公認心理師の役割と養成の在り方等に関する調査研究」（実施主体は浜銀総合研究所）に、公大協から検討委員とワーキンググループを推薦しました。

7月23日 公大協および公認心理師制度に関する英語の説明文を公開しました。

8月3日 運営会議が開催されました。

8月10日 公大協メールマガジン第8巻1号配信（会員限定）。

9月4日 日本心理学会第90回大会（東洋大学白山キャンパス）において、総会・連携会議を開催しました。

9月4日 公大協シンポジウム「公認心理師試験からみた公認心理師」（国家試験検討委員会）が開催されました。

9月6日 チュートリアルワークショップ「事例とロールプレイで学ぶ心理演習の教材づくり」が開催されました（講師は古川洋和公大協事務局長）。

9月6日 公大協シンポジウム「公認心理師は診療報酬拡大でどう変わるか」が開催されました。

3. 今後の活動予定

2026年

9月11日 日本認知療法・認知行動療法学会（東北学院大学）でシンポジウム「診療報酬改定は公認心理師の実践にどう活かせるか？ー公認心理師による認知行動療法アプローチに基づく心理支援ー」を後援予定。

11月 運営会議を開催予定。

2027年

1～2月 一般社団法人公認心理師の会 2027年度被害者支援研修会を後援予定。

1月 公大協メールマガジン第8巻2号配信予定。

3月 会長選挙実施予定。

3月 運営会議および日本心理学会資格制度調整委員会を開催予定。

3月 委員全体会議を開催予定。

3月 2026年度公大協年報を発行予定。

5月15日 一般社団法人 公認心理師の会 年次総会（東京大学駒場キャンパス）で公大協共催プログラム開催予定。

5月16日 一般社団法人 公認心理師の会 研修会（東京大学駒場キャンパス）で公大協共催プ

プログラム開催予定。

5月頃 令和9年度公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者養成講習会に公大協として協力予定（企画委員会および講習会講師として参加予定）。

8月 公大協運営会議を開催予定。

9月10～12日 日本心理学会大会（新潟市朱鷺メッセ）において、総会・連携会議の開催予定。公大協シンポジウム（学部カリキュラム検討委員会担当）開催予定。チュートリアルワークショップ開催予定。

4. 会員・加盟団体の先生方へのお願い

2026年度中に、厚生労働省障害者総合福祉事業（浜銀総合研究所）として「公認心理師の活動状況等に関する実態 及び公認心理師に求められる養成の在り方等に関する調査研究」が開催されます。回答依頼があった先生方にはご協力をお願いします。

5. 委員会報告

昨年度の総会（2025年9月）から現在までの各委員会の活動と今後の計画は次のとおり。

1) 学部カリキュラム検討委員会

a. 今年度の報告

カリキュラム等検討会に向けての提言を取りまとめるため、根拠となるデータとして、学部教育、特に基礎心理学科目で学ぶ内容が、現場で必要とされるコンピテンシーにどのように関連しているのかについての調査を作成し、開始した。

b. 今後の計画

調査データの集計と分析を行い、現状の学部教育科目の役割を確認し、今後の学部教育カリキュラムのありようについての提言を行う。

2) 大学院カリキュラム検討委員会

a. 今年度の報告

- ・カリキュラム等検討会に向けた議論
- ・コアカリキュラムの見直しと改訂

b. 今後の計画

- ・海外の資格制度における大学院教育の調査
- ・大学院カリキュラムに関する提言

3) 現場実習検討委員会

a. 今年度の報告

・令和8年度公認心理師実習演習担当教員及び実習指導者講習会への関与。企画委員と講師を選任した。

- ・実習ガイドライン骨子案の作成

当該骨子案についてパブリックコメントを求めた（8月31日〆切）。

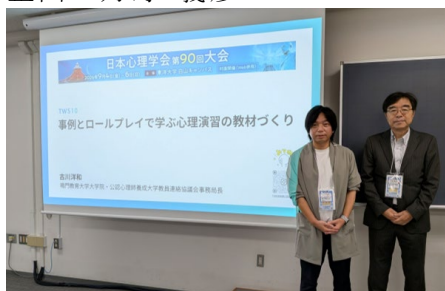
- ・日本心理学会第90回大会（東洋大学）でチュートリアルワークショップ開催

日本心理学会第90回大会 チュートリアルワークショップ 2026年9月6日

「事例とロールプレイで学ぶ心理演習の教材づくり」

講師：古川 洋和（公大協事務局長）

企画：丹野 義彦



b. 今後の計画

- ・パブリックコメントを踏まえた「実習ガイドライン骨子」の提案
- ・実習ガイドライン骨子に基づいた実習ガイドライン（案）の作成

4) 国家試験検討委員会

a. 今年度の報告

- ・生成 AI を用いた国家試験問題検討の予備的検討
- ・公認心理師を対象としたブループリントの調査の実施
- ・日本心理学会でのシンポジウム「公認心理師試験からみた公認心理師」の実施

日本心理学会第 90 回大会 大会企画シンポジウム 2026 年 9 月 4 日

「公認心理師試験からみた公認心理師」

企画：公大協国家試験検討委員会

企画代表者：国里 愛彦（公大協国家試験検討委員会委員長、専修大学）

司会：国里 愛彦

話題提供

国里 愛彦「公大協国家試験検討委員会の活動から」

宮川 純(河合塾 KALS)「試験対策の専門家から」

森田 麻登(神奈川大学)「養成校教員から」

大水 拓海(専修大学)「受験者から」

指定討論

丹野 義彦「公大協の立場から」



会場は満員となり、関心の高さがうかがわれた。

b. 今後の計画

- ・公認心理師を対象としたブループリントの調査の検討
- ・国家試験からみたカリキュラムに関する提言

5) 編集委員会

a. 今年度の報告

2025 年度の年報を本年 3 月 31 日付で発行した。

b. 今後の計画

本年度も例年同様のスケジュールで発行を予定している。

具体的には、10 月末頃、各委員会の正副委員長に執筆のお願いを出す予定。

原稿の締切は例年通り 1 月 20 日。編集委員会でとりまとめた後、原稿のチェックをお願いする。

6) 広報委員会

a. 今年度の報告

- ・公大協メールマガジン第 8 巻 1 号を作成し、8 月中旬に会員に対して配信した。
これまでメルマガは会員限定だったが、ウェブサイトで一般公開することとした。
- ・公大協の X (旧 Twitter) のアカウントを作成し、配信を始めた。アカウント情報をシェアしたので、数人によって、活発な広報展開を行う予定。

b. 今後の計画

- ・年明けを目処に、公大協メルマガ第8巻2号を作成し、配信する。
- ・公大協のX（旧 Twitter）を活用していく。
- ・公大協、科学者－実践家モデル、エビデンス・ベースド・アプローチ（プラクティス）などの広報に資するコンテンツをメルマガに掲載する。

6. 質疑応答・意見交換

- ・公大協運営委員の嶋田洋徳先生から、日本学術会議報告「公認心理師の国家的活用の在り方～職域の拡大と技量向上の責務～」が発出され、エビデンスやコアカリキュラムの重要性、専門公認心理師制度のあり方など、包括的な視点から、公認心理師制度の充実を訴えたことが報告された。学術会議から提言がなされたことは、公認心理師制度を考えるうえで大きな意義を持つことが確認された。
- ・国家試験検討委員会に対して、国家試験について検討したことは実現しているのか、行政側に伝えているのかについて質問があった。国里委員長から、検討内容をまとめた年報は公認心理師制度推進室に届けているとの回答があった。
- ・公大協副会長の北村英哉先生から、公認心理師のカリキュラムや出題基準などに構造的な変化はみられないと報告があった。